



湯浅美和子の市議会報告

市民ネットワーク 街づくり通信

No.60

発行：市民ネットワーク
編集：市民ネットワークみはま 〒261-0004 千葉市美浜区高洲3-11-3 並木ビル2F TEL・FAX 278-5005

ホームページ <http://www.chibanet.jp/mihama/> 〈E-mail〉 mihama@chibanet.jp

アメリカに端を発する世界的な金融危機、原材料価格の高騰、そして株価の下落。リスクが一体どこにあるのかもよく見えず、不安感が高まっています。自治体の財政も、その影響を免れません。

19年度の千葉市決算は、普通会計で初めて赤字を出した18年度から、ほんの少し回復し約3億円の黒字。しかしこれは手持ちの基金を取り崩してようやく得たもの。9月議会で示された19年度決算数値は、財政状況が極めて悪いことを示しています。年間の一般的な収入の中から借金返済に充てなければならぬ割合である実質公債費比率、また年間の収入をすべて返済に回すと何年で返済できるかをみる将来負担比率、基金の残高、いずれを見ても政令市中悪い方から1、2番目。

こんな結果を受け、21年度の予算編成が始まっています。景気の後退から、20年度は市税収入が当初予算より60億円近く減ることが予想されています。こんな時に事業費176億円というモノレール延伸を押し進

まわりの声！「身の丈財政」に

市議会議員 湯浅美和子

めるなどもつてのほか！ 昨年に見直しで工期は2年先延ばしされましたが、延伸事業はハッキリ中止とし、今ある路線の安全確保とサービス向上に限定すべきです。

また図書費をはじめ、教育費がどんどん削られています。「図書は教育の根幹。財政状況が悪くても歯をくいしばって予算をつけた」とは、片山前鳥取県知事の言葉。厳しい財政状況のときこそ、首長の姿勢が問われます。

全国で議会改革が模索されています。千葉市議会も遅まきながら、平成22年3月をめどに、議会審議の充実や政策立案の強化、市民に開かれた議会を目指し検討を行います。行政側の提案を追認するだけの議会では、もはや市民の共感

は得られません。公開の場で議員同士の議論を深め、事業の是非を決するのは当たり前。夜間の議会、議会による報告会など工夫も必要。皆様からのご意見をお寄せください。

議会改革検討委員会が

設置されました！

市民から遠い議会の存在を変えたい！

9月議会
(9/8~10/3)

植木の消毒 病虫害防除は、安全？

食品に化学物質混入のニュースが、連日流れています。でも、お住いの集合住宅や庭で植木に農薬をまいていませんか？

冷凍インゲンに混入されていたジクロロボスは、実は樹木によく散布される農薬です。私は化学物質過敏症で、近隣で樹木等へ農薬散布が行われると激しい心臓の痛み、胸の圧迫痛、頭痛が起こります。その為、農薬散布を他の方法に替えて頂きたいと思っています。



しかし、空気に拡散した農薬での健康被害は知られておらず、周囲の理解と協力を得るのは大変です。化学物質の影響を受けやすい胎児や子ども、化学物質過敏症の患者への健康被害を防ぐために低濃度であっても農薬を使用しない配慮を切に願います。

(高洲・Y.K)

※9月議会・湯浅美和子の一般質問にてこの問題をとりあげました。